

**【 投 薬 】****４８７ 全身性エリテマトーデスに対するタクロリムス水和物【内服薬】（プログラフカプセル等）の算定について**

《令和７年３月３１日》

**○ 取扱い**

ループス腎炎がない全身性エリテマトーデスに対するタクロリムス水和物【内服薬】（プログラフカプセル等）の算定は、原則として認められる。

**○ 取扱いを作成した根拠等**

プログラフカプセルは、添付文書において、効能・効果の一つとして「ループス腎炎（ステロイド剤の投与が効果不十分、又は副作用により困難な場合）」が記載されている。

ループス腎炎は、全身性エリテマトーデス（ＳＬＥ）の重要な臓器合併症の一つで、ＳＬＥ患者の約半数が発症するとされている。当該医薬品は、Ｔ細胞からのシグナル伝達を阻害することでＳＬＥに対して免疫抑制効果を発現し、結果としてループス腎炎の活動性も抑制される。したがって、ループス腎炎の記載がない場合であっても、当該医薬品の投与は適切である。

以上のことから、ループス腎炎がない全身性エリテマトーデスに対する当該医薬品の算定は、原則として認められると判断した。